

報告第3号

別冊 3

創業支援関連事業について

ちとせ創業支援オンラインセミナーの開催結果について

1 概要

市では創業支援等事業計画に基づき、平成 29 年度から創業支援セミナーを実施しており、専門家から、創業の心構え、経営の基礎知識や事業計画の策定方法等の創業に係るノウハウの習得機会を提供するほか、受講者同士が情報交換を行うことにより、創業に係る不安要素の解消やネットワークの構築を図っている。

今年度の同セミナーについては、創業準備の段階により「入門編」と「実践編」に分けるとともに、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染リスクを回避するため、オンラインでの開催とし、セミナーやワークショップを通じてノウハウの習得やネットワークの構築が図られるよう企画した。

講師には、新規事業・組織開発・人材育成など、企業が抱えるさまざまな問題の解決を行っている専門家を迎え、ビジョンの組み立て方や創業時に必要となる事業開発やマーケティング等の知識を習得できる機会の提供を行った。

さらにグループワークなどを通じ、受講者同士が交流できる場を設け、同じ志を持つ者が情報交換などを行うことで、起業に向けての意識高揚へと繋げることもできた。今後、具体的な創業に繋がられるようフォローアップも含めて継続して取組を進めたい。

2 セミナーテーマ・講師等

	日時	テーマ	参加者	講師
1	10月21日(水) 19:00~20:00	オンラインセミナー 「ビジョンから事業を創造する」	27名	PLAYWORKS 株式会社 代表 タキザワ ケイタ 氏(埼玉県)
2	11月7日(土) 13:00~17:30	ワークショップ①	7名	一般社団法人 PLAYERS リーダー &HAND プロジェクト リーダー
3	11月28日(土) 13:00~17:30	ワークショップ②	7名	筑波大学 大学院 非常勤講師 青山学院大学 ワークショップデザイナー 育成プログラム (WSD) 講師

※実施方法：オンライン (zoom)

【オンラインセミナー】10月21日(水) 19:00~20:00 (参加者 27名)

講師から新規事業・組織開発・人材育成など、企業が抱えるさまざまな問題の解決に取り組んだ事例について紹介があった。

具体的には、自身がプロジェクトリーダーとして開発に携わった、身体、精神的な不安や困難を抱えた人と手助けしたい人をマッチングするサービスや電車で席に座りたい妊婦と席を譲る意思のある乗客をつなぐサービス「&HAND」が生み出された経緯のほか、点字ブロックをスマートスピーカーやLINEと連携させ、視覚障害者の外出を「声」で支援するサービス「VIBLO」、顔が見える筆談アプリ「WriteWith」の社会実装など、社会課題を解決するためのプロジェクトに取り組まれた経緯について紹介があった。

事後アンケートでは、「マイナスからゼロではなくプラスにという考え方は参考になった」といった意識の変化に繋がるような感想や「起業して活躍している人の話に啓発された」など、刺激となった様子も見受けられた。

(セミナーの様子)



【オンラインワークショップ①】11月7日(土) 13:00~17:00 (参加者7名)

- (1) オンライン LEGO SERIOUS PLAY
- (2) リフレーミング

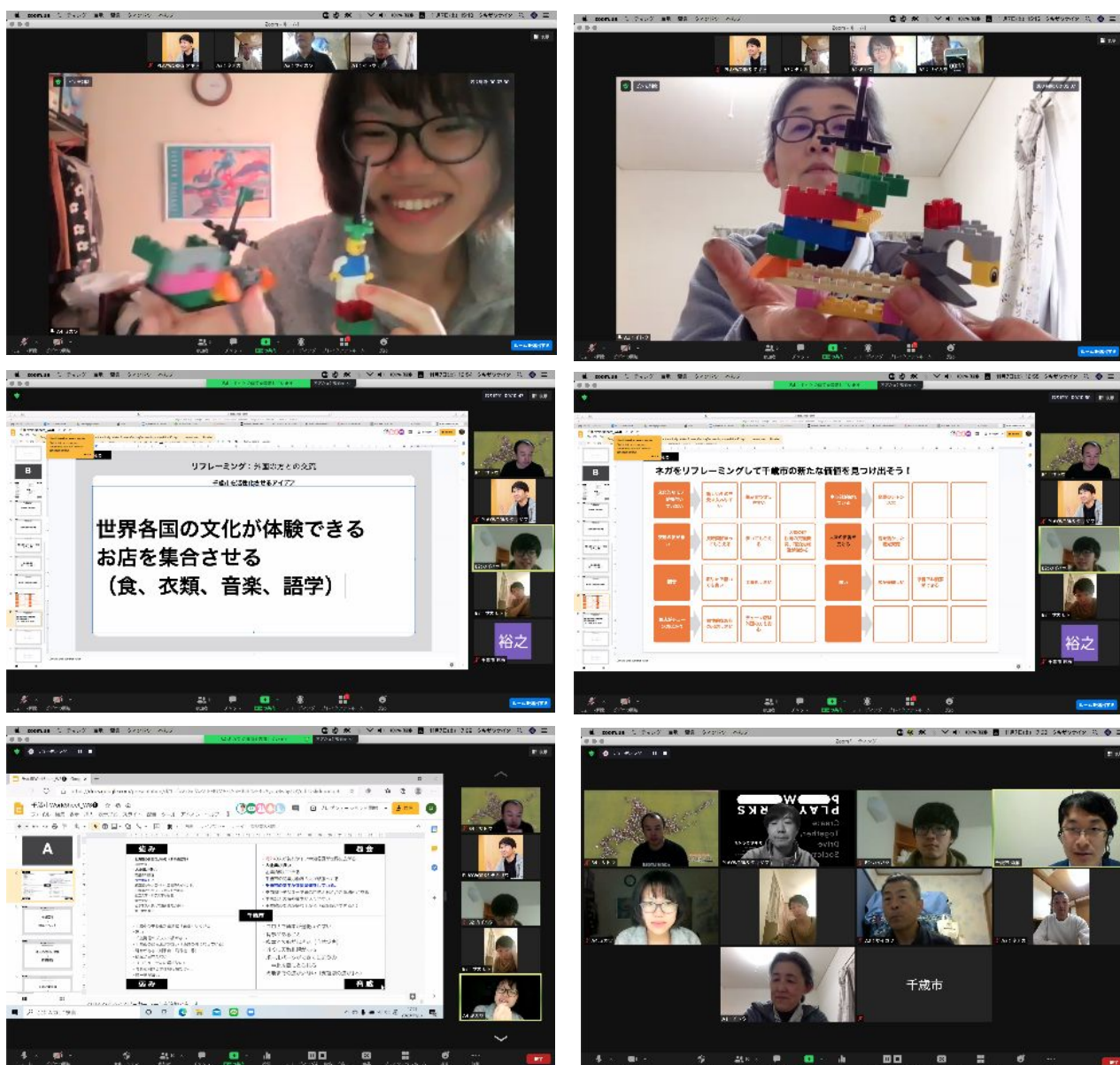
アイデア発想法を学ぶ参加者実践型のワークショップの1日目として開催し、20代から50代まで幅広い年代の参加があった。

前半では、レゴブロックを思考やコミュニケーションのツールに用いて、組織の力を飛躍的に向上することができる研修手法である「LEGO SERIOUS PLAY」をオンラインで実施した。参加者はレゴを使って、グループ内で対話しながら自己分析したり、自らのビジョンを組み立てたりと、思考を整理していく過程を体験した。

後半には、リフレーミングという手法によるマーケティング分析を行った。SWOT 分析を用いながら、「弱み」や「脅威」に当たる要素について抽出し、その「弱み」を「強み」と考えるとどのような捉え方ができるかといった課題について取り組み、固定化された考え方を外す思考法について学んだ。

事後アンケートでは、「難しいと思うアイデア出しの方法が学べてよかった」「知識を与えてもらうだけではなくて、頭を柔らかくすることを体感できた」といった次の取組に繋がるような感想や「レゴブロックを利用したワークショップがとても新鮮だった」「コロナ禍で zoom により受講出来たので、安心して参加できた」など、実施方法に関する感想も見られた。

(ワークショップの様子)



【オンラインワークショップ②】11月28日(土) 13:00~17:00 (参加者7名)

- (1) 3分アイデアソン
- (2) ビジネスモデルキャンバス

(3) ストーリーボード

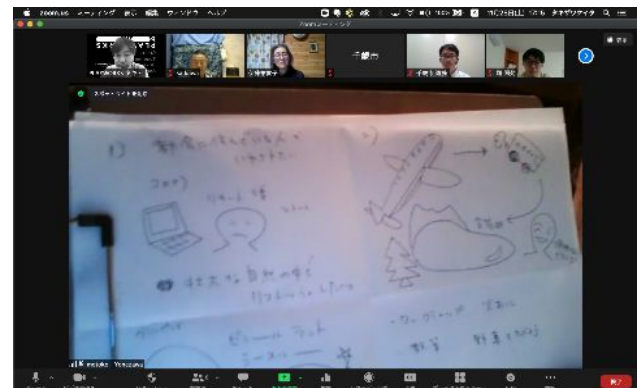
前半の3分アイデアソン（アイデア+マラソン）では、3分ごとに題材が出され、それに関連した要素を抽出し、千歳市の活性化のアイデアと掛け合わせて、新たなアイデアを生み出し続けることを体験した。

続いて、ビジネスモデルキャンバスでは、アイデアソンによって生み出されたアイデアについて、「提供価値」「顧客との関係」「コスト構造」など、9つの要素から視覚的にビジネスモデルを考え、整理していく練習を行った。

最後のストーリーボードでは、テーマとして設定した支笏湖でのグランピングのアイデアについて、「課題」→「アイデア概要①」→「アイデア概要②」→「解決」の4コマのイラストで表現することによって、アイデアの本質が理解しやすくなり、考えが整理できるということを手法から学んだ。

事後アンケートでは、「今後もあらゆる場面で生きてくる知識だと感じた」「考える力の種」をもらったような気がした」といった今後に繋がるような感想や「色々な業種の方とグループワークが出来て刺激になった」「他の参加者の方々も着想・討論とにもとてもレベルが高く、良い刺激をいただいた」など、受講者同士が刺激しあえる場になった様子も見受けられた。

(ワークショップの様子)



女性を対象とした起業セミナーの開催結果について

1 概要

女性が起業する際の課題として、経営に関する知識や専門知識の不足が挙げられており、周囲との交流や助言を求める割合が高くなっていることから、経営に係るノウハウが得られたり、同じような立場の人と交流できるような機会を提供することで、起業についての理解を促すとともに、起業へ向けたステップを踏み出してもらうことを目的にセミナーを開催した。

講師には、女性向けに起業スクールを運営するなど、女性の視点に立った起業支援を行っている専門家を迎え、自分に合った起業スタイルのを見つけ方から事業計画書の書き方など実践的な内容まで、起業に役立つ知識を習得できる機会の提供を行った。

さらにワークなどを通じ、受講者がアウトプットできる場を設け、起業に向けての意識高揚へと繋げることもできた。今後、窓口相談や他セミナーの情報提供等を通して、起業希望者の自己実現に結びつくよう、継続的に支援を行っていく。

2 セミナーテーマ・講師等

	日時	テーマ	参加者	講師
1	11月17日(火) 18:30~20:30	ステップ1 「私らしく働く」起業とは	16名	株式会社ワタラクシア 代表取締役/ 行政書士 伊藤 順子 氏(札幌市)
2	11月24日(火) 18:30~20:30	ステップ2 起業のタネの探し方	13名	
3	12月8日(火) 18:30~20:30	ステップ3 集客&応援される環境作り	15名	
4	12月15日(火) 18:30~20:30	ステップ4 お金の知識&事業計画書の書き方	13名	

※実施方法：オンライン (zoom)

【ステップ1～「私らしく働く」起業とは～】

11月17日(火) 18:30~20:30 (参加者 16名)

ステップ1では、講師から起業のために必要なことやスケジュール、自己分析について解説があった。

具体的には、講師自身の自己紹介では、挫折と挑戦の末に自己を見つめなおし、起業まで辿り着いた経験談について話があったほか、参加者自身もワークを行いながら、過去の自分について振り返ったり、自己の強みについて考えるなど、各過程を経て、自分の核となる軸を考える実践型の講義を行った。

【ステップ2～起業のタネの探し方～】

11月24日(火) 18:30~20:30 (参加者 13名)

ステップ2では、起業のタネの探し方や起業のステップ、コンセプトづくりなどについての話があった。

具体的には、起業のアイデアを見つけるためのプロセスに関するお話や、ビジネスとは社会の

課題解決であるということの解説、相手に響くサービス・商品を提供するためには、誰に・何を・どのように売のかを明確にすることが重要であるといった話があった。

【ステップ3～集客&応援される環境作り～】

12月8日（火）18：30～20：30（参加者15名）

ステップ3では、集客の基礎や発信の仕方、ワークライフバランスなどについての話があった。具体的には、集客においては相手にどのようなメリットがあるのかを明確に伝えることが重要であることを講師自身の経験を踏まえて解説したほか、情報発信について、目的やターゲットによってツールを使い分けたり、地道に発信することが重要であるといった話があった。また、ワークライフバランスについては、起業に当たり、自己や周囲を大切にするためには、仕事・家庭・自分それぞれにルールを設けて、基準を持って生活していくことが有効であるといったアドバイスがあった。

【ステップ4～お金の知識&事業計画書の書き方～】

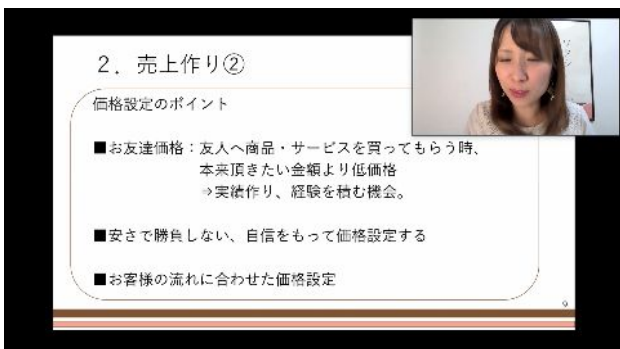
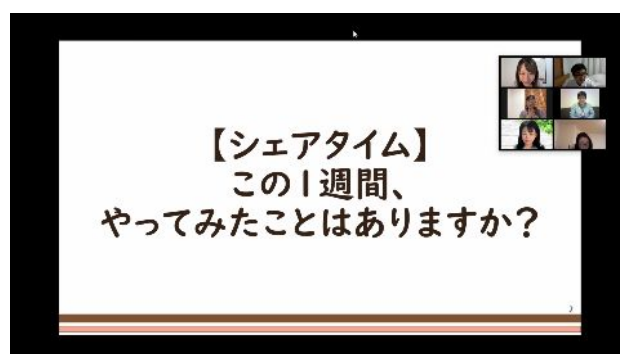
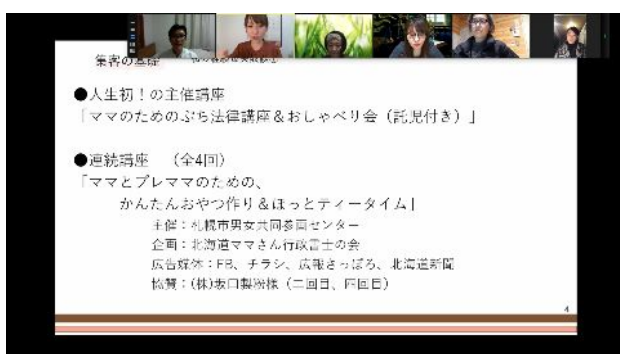
12月15日（火）18：30～20：30（参加者13名）

ステップ4では、起業時に必要な資金や売上を立てていく方法、事業計画書の作成方法などについて話があった。

具体的には、ワークを通して、創業時や事業を行う中で必要な支出について具体的に考えたり、価格設定の考え方について話があった。事業計画書は難しく思われがちであるが、相手に事業を説明したり、内容を客観的に捉えるために重要なもので、これまで4回を通して学んできた内容で十分埋められるものであることが説明された。最後に参加者一人ひとりが1年後の自分について宣言してセミナーは終了となった。

事後アンケートでは、「セミナーを受けて自身の意識や行動が変わった」「「私らしい起業」に何とか挑戦してみたい」といった次の取組に繋がるような感想や「オンラインは家庭を持つ女性が参加しやすい」「zoomでの開催スタイルは、移動時間が無く、講座にも集中できてありがたかった」など、実施方法に関する感想も見られた。

（セミナーの様子）



若者向けイノベーション人材育成セミナー (ちとせローカルイノベーションセミナー) の開催結果について

1 概要

千歳市創業支援等事業計画に基づく創業機運醸成事業として実施する、若者向けイノベーション人材育成セミナーは、企業経営者等が起業や新たな取組への挑戦など、自らの経験について若者に伝え、セミナーを通じて、若者の将来の選択肢の拡大を図るほか、新たなことへの挑戦を促し、イノベーション人材が生まれる文化の醸成を目指すものであり、令和2年度は、千歳科学技術大学の学生向け、千歳高校の生徒向けにそれぞれ開催することとしており、今回は千歳科学技術大学の学生向けのセミナーを実施した。

主に千歳科学技術大学の学生向けに実施する「ちとせローカルイノベーションセミナー」については、労政係で実施する就職支援セミナーと併せて開催し、講師には、J-Startup HOKKAIDO 認定スタートアップ企業に選出され、地域に根差した有望なスタートアップ企業としてグローバルに活躍することが期待されている IT 企業の経営者を迎え、起業に至った経緯や起業後の失敗事例などについて講演を行った。

なお、当初、公立千歳科学技術大学本部棟内で開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、基本的にオンラインでの開催へ変更した。

2 セミナーテーマ・講師等

日時	テーマ	参加者	講師
12月16日(水) 15:45~16:30	起業後に経験した3つの失敗 ～成功を掴むために心がけていること～	58名	株式会社キットアライブ 代表取締役社長 嘉屋 雄大 氏(札幌市)

※実施方法：オンライン (zoom)

※以下の若年求職者向け就職支援セミナーを当セミナーの前段で開催した。

12月16日(水) 15:00~15:45

テーマ：どんな企業も欲しが、令和時代の就活思考法

講師：(株)ケイシイシイ 経営管理部 部長 小松 弘宜 氏

【講演内容】

12月16日(水) 15:45~16:30

(参加者 58名：両セミナー共に参加 49名、当セミナーのみ参加 9名)

講師の嘉屋氏が代表を務める株式会社キットアライブは、クラウドを用いた顧客管理システム(セールスフォース)の導入支援を行っている。

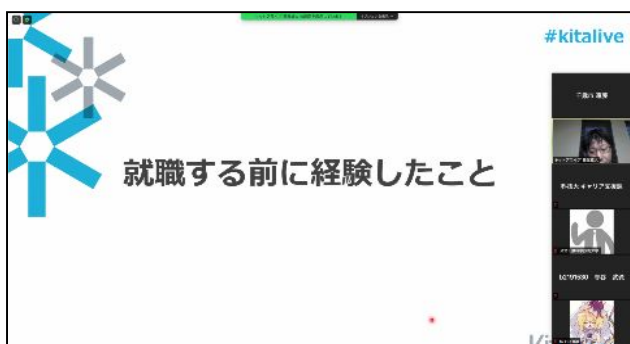
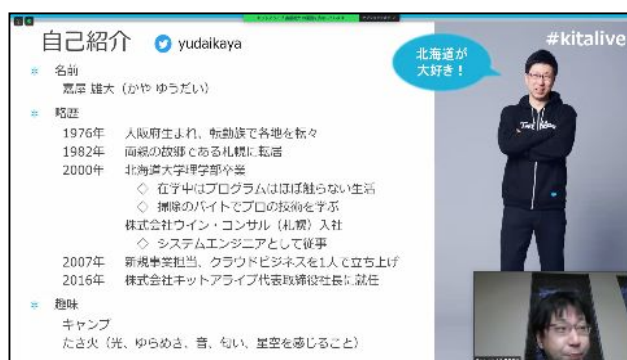
会社の立ち上げに関しては、就職において、友人の「北海道には就職したい企業がない」という一言に違和感を抱き、システム開発会社を経て、起業を志した経緯の話があった。

また、会社の目指すべき姿については、道内ではまだまだ浸透していないセールスフォースによる顧客管理システムの導入支援を通して、中小企業、小規模企業の生産性向上に向けたパートナーとして支援していきたいというビジョンが語られたほか、起業後の経験談では、事業計画を綿密に作成する重要性や予期せぬ事態への対応、意思疎通の齟齬を避ける仕組みづくりについて実体験を踏まえた話があった。

事後アンケートでは、「人生にはさまざまな選択肢があるのだと改めて実感した」「関心のなかった分野について知ることができた」といった将来への視野が広がったというような感想や「職場のチーム運営などで役立ちそう」「今後のキャリアに生かしたい」など、起業に関わらず自身の参考としたいといった感想も見られた。

今後も、こうした取組を通して、将来的な創業者の掘り起こしなど、創業の普及啓発による次世代の担い手確保を図っていく。

(セミナーの様子)



若者向けイノベーション人材育成セミナー (NoMaps イノベーションキャラバン) の開催結果について

1 概要

千歳市創業支援等事業計画に基づく創業機運醸成事業として実施する、若者向けイノベーション人材育成セミナーは、企業経営者等が起業や新たな取組への挑戦など、自らの経験について若者に伝え、セミナーを通じて、若者の将来の選択肢の拡大を図るほか、新たなことへの挑戦を促し、イノベーション人材が生まれる文化の醸成を目指すものである。

同セミナーについては、今年度、12月16日に千歳科学技術大学の学生向けのセミナーを実施したほか、この度、2月5日には、北海道経済産業局と連携し、千歳高校の生徒向けのセミナー「NoMaps イノベーションキャラバン」を実施した。

開催に当たっては、当初、千歳高校を会場として講師が講演する形を想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面からオンラインへ開催形態を変更することとしたほか、限られた予算で効果的に事業を行うため、北海道経済産業局の仲介のもと、同じ趣旨でセミナーを開催する予定であった稚内市と当市で共に主催という位置付けで、合同により実施することとした。

講演では、北海道を拠点に活躍するIT企業の経営者を迎え、起業に至った自らの体験や社会を変革するイノベーションについて話があったほか、講師と高校生のディスカッションも行われ、千歳高校からは国際流通科の生徒2名（BSC-ビジネススタディクラブ-所属）が参加した。

2 開催概要

日時：令和3年2月5日（金）13：20～14：25

配信方法：オンライン配信（一般公開なし）

対象：千歳高校（2名）、稚内高校（2名）、稚内大谷高校の生徒（2名）

講師：エコモット株式会社 代表取締役 入澤 拓也 氏

モデレーター：株式会社あしたの寺子屋 代表取締役 嶋本 勇介 氏

プログラム：

13：20～13：30 趣旨説明、自己紹介、アイスブレイキング

13：30～14：10 講師による講演

「コロナ禍だからこそ伝えたいイノベーションの重要性」

エコモット株式会社 代表取締役 入澤 拓也 氏

14：10～14：20 各校生徒からの質問、ディスカッション

14：20～14：25 まとめ

主催：千歳市、稚内市

共催：北海道経済産業局

特別協力：NoMaps 実行委員会

3 講演内容

講師の入澤氏が代表を務めるエコモット株式会社は、IoTを活用した企業の課題解決に取り組

んでおり、データ収集、蓄積、分析、結果のフィードバックという一連のサイクルを通じて、「あらゆるモノ」のデータをビジネスプロセスに組み込む事業を行っている。

起業に当たっては、IT の力で北海道を豊かにしたいとの思いから事業を立ち上げ、設立後にはリーマンショックや東日本大震災、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大など、数多くの難題が立ち塞がったが、都度、ピンチをチャンスにという気持ちで前向きに困難を乗り越えてきた経験について語られた。

また、今回の新型コロナウイルス感染症の影響は、観光業や飲食業など目に見えるところばかりでなく、その下請けなど下流への影響も甚大であり、それに伴って大きな変革が生じており、幅広い視点を持ち、社会のつながりを感じることが重要であるとの話があったほか、自らのビジョンを掲げることで、希望を持ち、本質を見失わずに志を追求することができるといった、生徒に向けたメッセージも伝えられた。

生徒からは、「IT 分野の進路も検討していたので大変興味深かった」「早速、クラブ活動の取り組みに生かしたい」といった前向きな感想が聞かれた。

なお、千歳高校では、2月中に本セミナーの動画を授業内で視聴し、グループでディスカッションを行うなど、活用する予定。

(セミナーの様子)

